

中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故による 本県観光への影響調査結果

山梨県観光部

- 調査日時 平成25年1月10日(木)11日(金)
(その後、補充調査を実施)
- 調査対象 (1)県内観光施設20箇所(日帰り温泉、ゴルフ場、道の駅、美術館、博物館等で、圏域ごとに各4箇所)
(2)県内宿泊施設15箇所(旅館、ホテル等 圏域ごとに各3箇所)
- 調査内容 12月の入込客数、宿泊者数
- 調査方法 観光部職員が施設を訪問し聞き取り

【 12月期の状況 】

【観光入込客数】

- ・県内観光施設20箇所の入込客数は、12月期の合計で113,514人。前年の143,644人に比べ、30,130人、21.0%の減となっている。
- ・圏域別に見ると、すべての圏域でマイナス。特に、峡東圏域で28.8%の減、峡中圏域で26.5%の減、峡北圏域で19.3%の減と大きく落ち込んでいる。
- ・施設ごとに見ると、一番落ち込みが大きいのは峡北圏域の施設で43.1%の減、続いて峡中圏域の施設の39.5%の減、峡東圏域の施設の36.3%の減となっている。
- ・峡東圏域の施設の経営者は、「事故直後は客が半減、片道通行以降においても2割減の状況が続いている」と話している。

【宿泊者数】

- ・県内宿泊施設15箇所の宿泊者数は、12月期の合計で31,988人。前年の35,694人に比べ、3,706人、10.4%の減となっている。
- ・圏域別に見ると、すべての圏域でマイナス。峡中圏域で12.7%の減、峡東圏域で11.2%の減、峡南圏域で10.9%の減、峡北圏域で10.2%の減となっている。
- ・施設ごとに見ると、一番落ち込みが大きいのは峡南圏域の施設で21.3%の減、次は峡中圏域の施設で20.3%の減となっている。
- ・首都圏からは笹子トンネルを通過しない富士・東部圏域でも7.0%の減と影響が出ている。

【その他】

各施設からは、安全性を十分に確保した上での中央自動車道の早期の全面復旧とともに、事故によるマイナスイメージを払拭し、観光客の誘客促進を求める声が多く寄せられた。

(お客様の反応について)

- ・例年利用している常連客も減少(峡北 宿泊施設)
- ・極端に予約が入らないのは、直前まで予約を差し控えている人が多いのでは。(峡東 宿泊施設)

(営業努力について)

- ・事故後、価格を下げて対応したため、人数の減少以上に売り上げ・利益率の減少が大きい。(峡東 宿泊施設)
- ・特別料金の設定など営業努力で対応した。(峡中 宿泊施設)

(今後の誘客活動について)

- ・春の観光シーズンに向け、明るい話題を提供してほしい。(峡中・峡北 宿泊施設)
- ・中京圏へのアピールも必要。(峡中・富士東部 宿泊施設)

※ 個別施設名については、施設の意向により非公表とします。

中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故による 本県観光への影響調査結果

【12月期の状況】

■観光入込客数(20箇所)

(単位:人)

| 圏域 | 平成24年 | 平成23年 | 増減 | 増減率 |
|-------|---------|---------|----------|--------|
| 峡中 | 20,768 | 28,250 | ▲ 7,482 | -26.5% |
| 峡東 | 26,145 | 36,740 | ▲ 10,595 | -28.8% |
| 峡南 | 27,460 | 31,760 | ▲ 4,300 | -13.5% |
| 峡北 | 23,009 | 28,520 | ▲ 5,511 | -19.3% |
| 富士・東部 | 16,132 | 18,374 | ▲ 2,242 | -12.2% |
| 計 | 113,514 | 143,644 | ▲ 30,130 | -21.0% |

■宿泊者数(15箇所)

(単位:人)

| 圏域 | 平成24年 | 平成23年 | 増減 | 増減率 |
|-------|--------|--------|---------|--------|
| 峡中 | 7,422 | 8,504 | ▲ 1,082 | -12.7% |
| 峡東 | 4,637 | 5,220 | ▲ 583 | -11.2% |
| 峡南 | 4,944 | 5,549 | ▲ 605 | -10.9% |
| 峡北 | 8,068 | 8,980 | ▲ 912 | -10.2% |
| 富士・東部 | 6,917 | 7,441 | ▲ 524 | -7.0% |
| 計 | 31,988 | 35,694 | ▲ 3,706 | -10.4% |